

再生医療と創薬の最前線 第一回シンポジウム

# 心臓外科と神経内科 難治性疾患の克服に向けて

iPS細胞からドラッグデザインまで

近年、再生医療や新薬開発が、これまで難しいと言われてきた疾患の治療を大きく変えようとしています。

本シンポジウムでは、心臓疾患の外科手術における再生医療の応用について、日本を代表する心臓外科医が分かりやすく紹介します。また、アルツハイマー病やヤコブ病などの神経疾患に対する最新の創薬開発について、第一線の研究者が分かりやすく紹介します。

**日時** 平成25年3月2日(土) 開場13:30

**場所** 岐阜大学 駅前サテライトキャンパス  
(岐阜スカイウイング37 東棟4階)

## プログラム

司会 岐阜大学 生命科学総合研究支援センター  
鎌足 雄司 助教

14:00 開会のあいさつ

14:10~15:00 講演1

### 心血管外科の最新治療

座長 岐阜大学 大学院医学系研究科 高度先進外科学

竹村 博文 教授

講師 大阪大学 大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科学

澤 芳樹 教授

(10分休憩)

15:10~16:00 講演2

### 治療薬開発の最前線

座長 岐阜大学 大学院医学系研究科 再生医科学専攻 組織・器官形成分野

國貞 隆弘 教授

講師 岐阜大学 大学院連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻

桑田 一夫 教授

(10分休憩)

16:10~16:50 パネルディスカッション

### 再生医療と創薬の実際

座長 岐阜薬科大学 薬学科 薬物治療学研究室

保住 功 教授

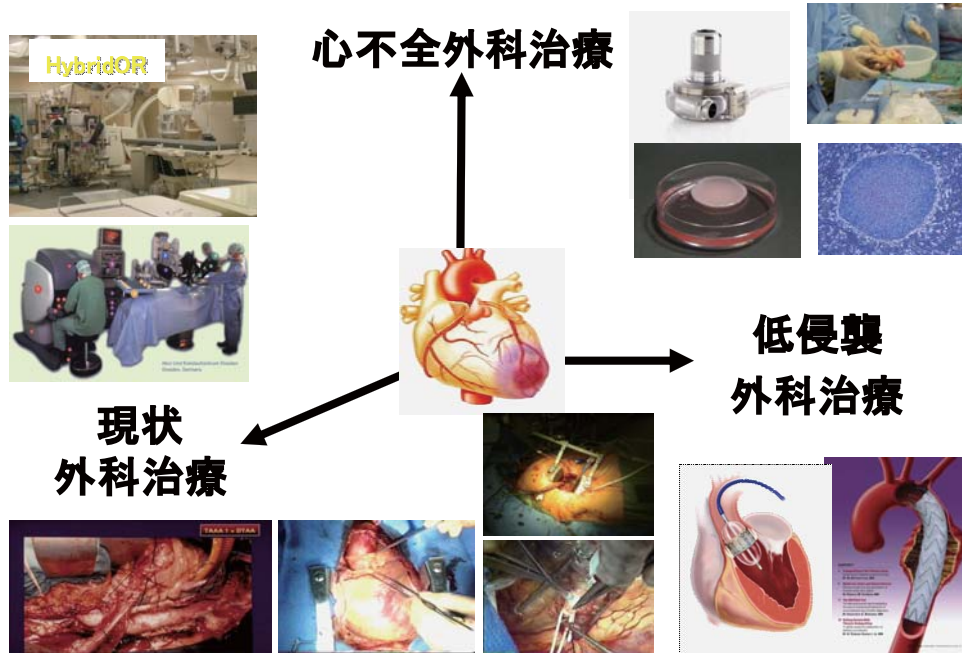
16:50 閉会のあいさつ

## 研究紹介

大阪大学 大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科学

澤 芳樹 教授

## 心臓血管外科学のニューパラダイム



心臓血管外科においては、近年成績はきわめて向上した。しかし、さらなる手術成績の向上と低侵襲、そして現状で克服されていない疾患の治療を目指して、新しい治療法が開発されている。いま、TAVI、VADそしてiPSはニューパラダイムを構築しつつある。

TAVI transcatheter aortic valve implantation 経カテーテル大動脈弁置換術

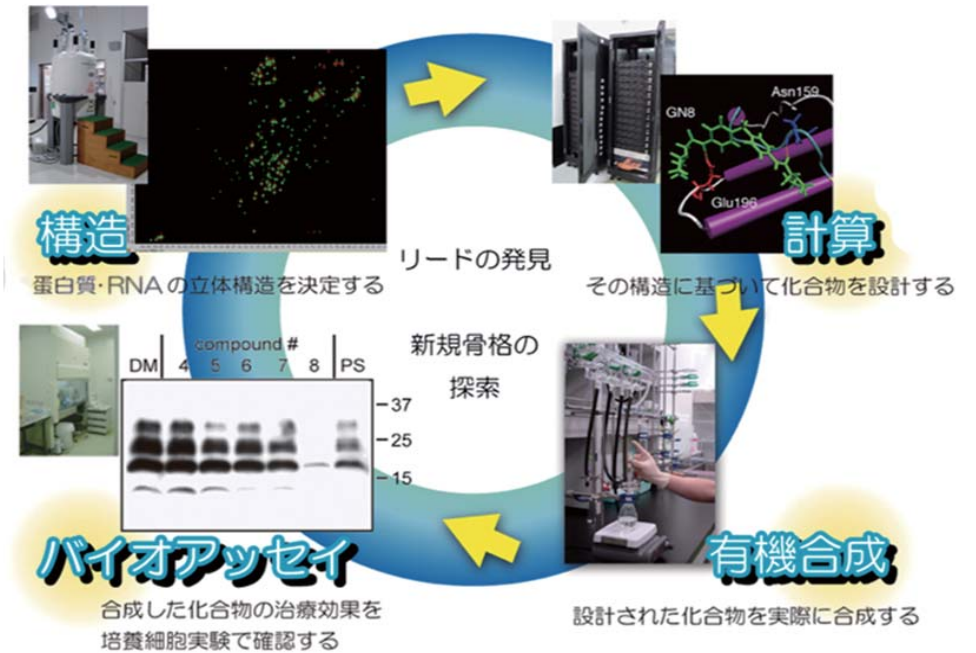
VAD ventricular assist device 補助人工心臓

iPS cell induced pluripotent stem cell 人工多能性幹細胞

岐阜大学 大学院連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻

桑田 一夫 教授

## 難治性疾患に対する治療薬開発の最前線



論理的創薬法では、疾患の原因となる蛋白質の立体構造情報に基づき、治療薬候補化合物をコンピューターにより設計し、開発する。同手法は、遺伝子や蛋白質の構造異常に起因する疾患に対する新しい治療薬開発法として期待されている。